

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

# 蓬萊町だより

第九十号

平成 29 年 1 月 25 日

発行 蓬萊町会

## 町内探訪

(16)

### 栄松院の椎の木

### 大樹の生命力

昔、その大きな木を見て少し気になっていたものだ。半分、焼けただけのような傷があったからだ。その大きな木は駒本小学校の校庭の前にあって、大人から「あれは雷が落ちて焼けたんだ」と聞かされ納得していた記憶がある。以前、栄松院さんの書院に駒本小学校の生徒達がこの大きな木に寄せた文章が額に入って壁に掛けられてあった。駒本小学校の生徒達は皆この木が気になっていたようだ。

この木について前住職の城英倫氏が書いた文章がある。以下に引用する。

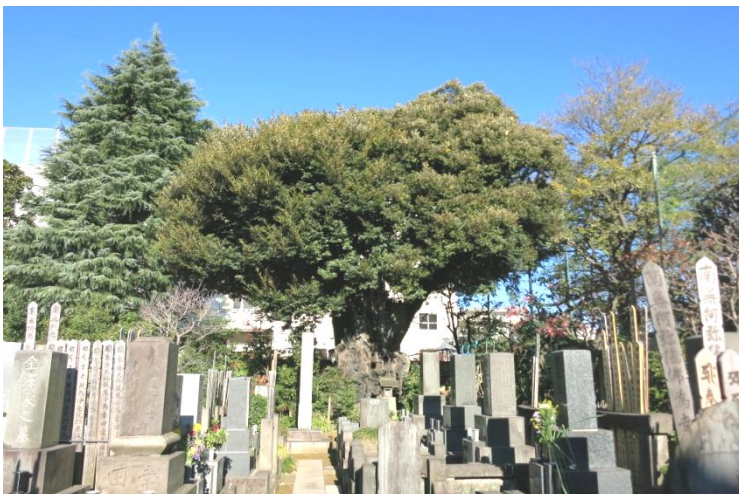
“年輪を重ね、天にそびえて地を圧したかつての「天然記念物栄松院の椎」は太平洋戦争の際、焼夷弾数発の直撃を受けた。一昼夜燃えつづけて自然消火したが、すでに元の面影はなく、焼けただけれた巨大な幹からは、大きな焼けぼっくりの枝が四方の空に残

り寂寥たるものがあつた。台風の頃になると、この焼けぼっくりが「ドサリドサリ」と地ひびきを立てて落下し、いよいよ椎の木も終りかの感をひとしお深くした。しかし、丸はだかと思われた幹の下の方から新しい「ヒコバエ」が芽ばえ、みるみる大きく成長し多くの小枝を産んでいる。

附近の人々がこの木を「へびの木」とも呼んでいたが、それは戦前この木の洞に大蛇がすんでいることに由来し、大蛇はふだんほとんど人目にふれる場所に現れることはなく、私も一度だけその姿を見て身の毛のよだつ思いであった。大蛇は可哀想に「椎の木」が焼けた時に運命をともししてこの世から消えたようである。”  
(本郷仏教会寺院誌編集委員会編「本郷の寺院」より)

焼ける前、この椎の木(スダジイ)は大正15年(1926年)に国の天然記念物に指定される程の大きな木だった。焼け残った根っこの大きさからその巨大な木の姿が想像できる。天にそびえて地を圧した大樹が空襲を受けて炎上し、その後、奇跡的に復活した。

その傍に立つだけで人々に畏敬の念を抱かせずにはおかない大樹、その大樹の逞しい生命力には驚嘆させられる。  
(文責 猪熊良一)



平成28年度根津神社祭礼会計報告		祭礼実行委員会	
収入		支出	
協賛金(224件)	1,498,000	設営関連費	103,272
町会助成金	500,000	運営関連費	154,691
鉢洗い参加費(25名)	50,000	協賛金関係	260,000
		購入品(高張提灯等)	327,030
		土産代他	504,223
		根津神社・連合関連費	238,863
		鉢払い支出(29名)	193,252
		神輿修繕積立金	266,669
合計	2,048,000		2,048,000



根津神社の祭礼、23ヶ町連合渡御が盛大に執り行われました。

### 蓬萊句壇

陽を返すものなき枯野暮れいたり 後藤周平

氷上にあと一周の鐘ひびく 船越はるき

宮鳩のつと寄り添る七五三 津久井たかを

黄に染まり銀杏あかりの道となり 藤井あきを

凍雲や巨大風車の動かざる 岡部恒田

太平洋じっと見つめる十二月 井上海月子

初冬や返してさびし免許証 阿部泰子

足りていて何かたりない小六月 池田南北

### 訃報

鈴木正恵様 67歳 向丘 2-15-12

佐々木憲子様 84歳 向丘 2-27-11

久貝孝子様 65歳 向丘 2-25-10

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集委員

本城康至 坂本禎一  
大熊敏幸 猪熊良一

### 町会活動の概要

平成28年6月から平成28年11月まで

6/5 消防団団体コンクール

6/19 こども防災訓練

6/27 向丘地区宿泊研修会

7/7 学校運営協議会

7/15 日赤献血運動

8/28 婦人部定例会

8/29 日医大建替工事協議会

9/5 天ぷら会

9/18 根津神社例大祭 連合宮入

9/28 掲示板改修工事(ガラス板付)

10/2 連合まつり 大運動会

10/5 向丘連合施設見学会 浄化センター

10/30 青少年健全育成会 バスハイク

11/1 駒込警察母の会バス研修会

11/6 自転車交通安全教室

11/10 スクールガード巡回

11/13 文の京こども祭

11/15 日赤バス研修会

11/16 赤い羽根募金収納

11/27 防災コンクール